

1 全国ボックスカルバート協会型

建設物価
掲載

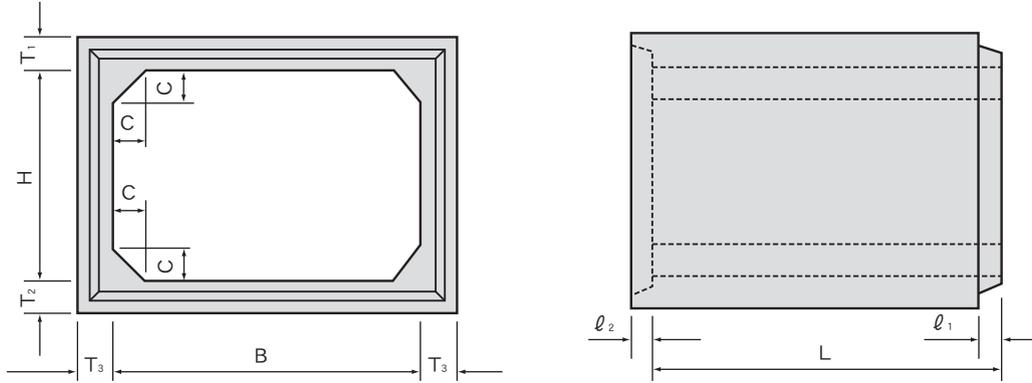
JIS製品
A5372



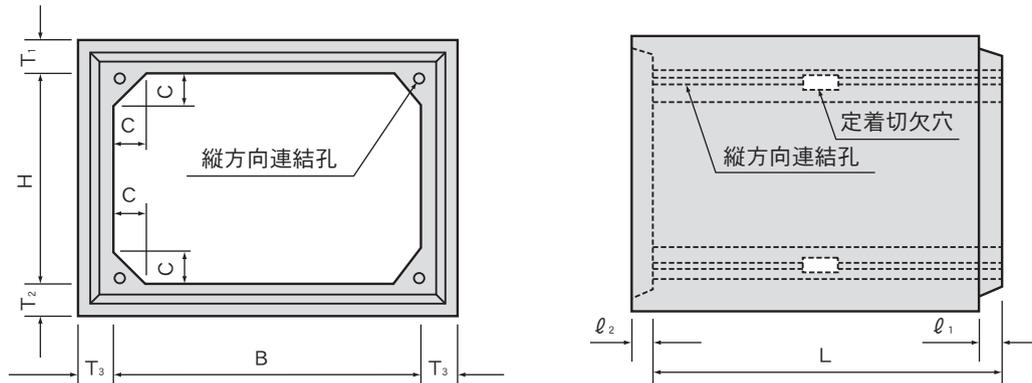
日本下水道協会Ⅱ類認定製品 T-25対応

土被り0.5m~3.0m

通常敷設型

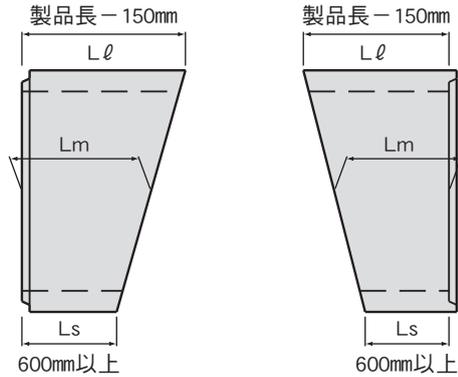


PC鋼材による縦方向連結型



役物

片斜角



※長辺 (Lℓ) と短辺 (Ls) の比率 (Lℓ/Ls) は基となる製品長 (L) によって異なります。

- 片斜角製品
L = 2000及び1500の場合1.8以下
L = 1000の場合1.5以下
- 両斜切製品につきましては各担当営業まで御一報ください。

役物

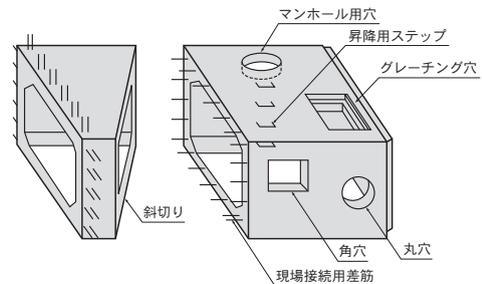
単尺製品	標準寸法価格×実長率+ (標準寸法価格×0.3)	実長率=製品長÷標準長
片斜切製品	標準寸法価格×実長率+ (標準寸法価格×0.5)	実長率= (短辺+長辺) ÷ 2 ÷ 標準長
オス・メスフラット加工	標準寸法価格+(標準寸法価格×0.1)×加工箇所数	—

その他の役物

仕様	単価 (円)	明細	備考
横 穴	11,400/ヶ	φ400以下	
〃	17,200/ヶ	φ401~φ600迄	
〃	31,500/ヶ	φ601以上	
人孔用穴	33,000/ヶ	φ600用	双方穴開けの場合は片側で65%
〃	64,800/ヶ	φ900用	双方穴開けの場合は片側で65%
差筋アンカー	1,100/本	D10	ℓ = 450 (参考)
〃	1,200/本	D13	ℓ = 600 (〃)
〃	1,400/本	D16	ℓ = 750 (〃)
ステップ		大 B=300mm	ノーブレンステップ
〃		小 B=150mm	

縦連結PC鋼材

PC鋼材の径 (mm)	規格	許容緊張力 (kN)	単位質量 (kg/m)
PC鋼棒 φ13	B種1号SBPR 930/1080	100	—
PC鋼棒 φ15	B種1号SBPR 930/1080	130	—
PC鋼棒 φ17	B種1号SBPR 930/1080	170	—
PC鋼棒 φ19	B種1号SBPR 930/1080	210	—
PC鋼より線 φ12.7	SWPR7BN, SWPR7BL	120	0.774
	SWPR7AN, SWPR7AL	160	1.101
PC鋼より線 φ15.2	SWPR7BN, SWPR7BL	180	1.101
	SWPR19N, SWPR19L	270	1.652



$$Pt \geq \frac{\mu \cdot W \cdot N}{2}$$

Pt : 引き寄せ力 (kN)
 μ : 摩擦係数 (≤ 1.0)
 W : 製品1本の重量 (kN)
 N : 1つの連結区間における製品本数

※PC鋼材を4本同時に引き寄せる場合は別途検討を要します。

呼 名 (B×H)	単 価 (円)	参考質量 (kg)	長さ	頂版	底版	側壁	ハンチ	凸部	凹部
			L (mm)	T ₁ (mm)	T ₂ (mm)	T ₃ (mm)	C (mm)	ℓ ₁ (mm)	ℓ ₂ (mm)
600× 600	別途見積	2000	2000	130	130	130	100	60	40
700× 700	〃	2260	2000	130	130	130	100	60	40
800× 800	〃	2520	2000	130	130	130	100	60	40
900× 600	〃	2390	2000	130	130	130	100	60	40
900× 900	〃	2780	2000	130	130	130	100	60	40
1000× 800	〃	2900	2000	130	130	130	150	60	60
1000×1000	〃	3160	2000	130	130	130	150	60	60
1000×1500	〃	3810	2000	130	130	130	150	60	60
1100×1100	〃	3420	2000	130	130	130	150	60	60
1200× 800	〃	3160	2000	130	130	130	150	60	60
1200×1000	〃	3420	2000	130	130	130	150	60	60
1200×1200	〃	3680	2000	130	130	130	150	60	60
1200×1500	〃	4070	2000	130	130	130	150	60	60
1300×1300	〃	4100	2000	140	140	130	150	60	60
1400×1400	〃	4540	2000	150	150	130	150	60	60
1500×1000	〃	4470	2000	160	160	140	150	60	60
1500×1200	〃	4750	2000	160	160	140	150	60	60
1500×1500	〃	5170	2000	160	160	140	150	60	60
1800×1200	〃	5600	2000	170	170	150	150	80	80
1800×1500	〃	6050	2000	170	170	150	150	80	80
1800×1800	〃	6500	2000	170	170	150	150	80	80
2000×1500	〃	6980	2000	180	180	160	200	80	80
2000×1800	〃	7460	2000	180	180	160	200	80	80
2000×2000	〃	7780	2000	180	180	160	200	80	80
2200×1800	〃	6570	1500	200	200	180	200	80	80
2200×2200	〃	7110	1500	200	200	180	200	80	80
2300×1500	〃	6320	1500	200	200	180	200	80	80
2300×1800	〃	6720	1500	200	200	180	200	80	80
2300×2000	〃	6990	1500	200	200	180	200	80	80
2300×2300	〃	7400	1500	200	200	180	200	80	80
2400×2000	〃	7530	1500	210	210	190	200	80	80
2400×2400	〃	8100	1500	210	210	190	200	80	80
2500×1500	〃	7340	1500	220	220	200	200	80	80
2500×1800	〃	7790	1500	220	220	200	200	80	80
2500×2000	〃	8090	1500	220	220	200	200	80	80
2500×2500	〃	8840	1500	220	220	200	200	80	80
2800×1500	〃	5740	1000	240	240	220	200	80	80
2800×2000	〃	6290	1000	240	240	220	200	80	80
2800×2500	〃	6840	1000	240	240	220	200	80	80
2800×2800	—	7170	1000	240	240	220	200	80	80
3000×1500	別途見積	6770	1000	260	260	240	300	80	80
3000×2000	〃	7370	1000	260	260	240	300	80	80
3000×2500	〃	7970	1000	260	260	240	300	80	80
3000×3000	—	8570	1000	260	260	240	300	80	80
3500×2000	別途見積	9150	1000	310	310	250	300	80	80
3500×2500	—	9780	1000	310	310	250	300	80	80

1. 製品の搬入は、現地車上渡しを原則とさせていただきます。

●ボックスカルバート据付歩掛

ボックスカルバート（内空断面が台形タイプの物を含む）据付歩掛は、次のとおりとします。

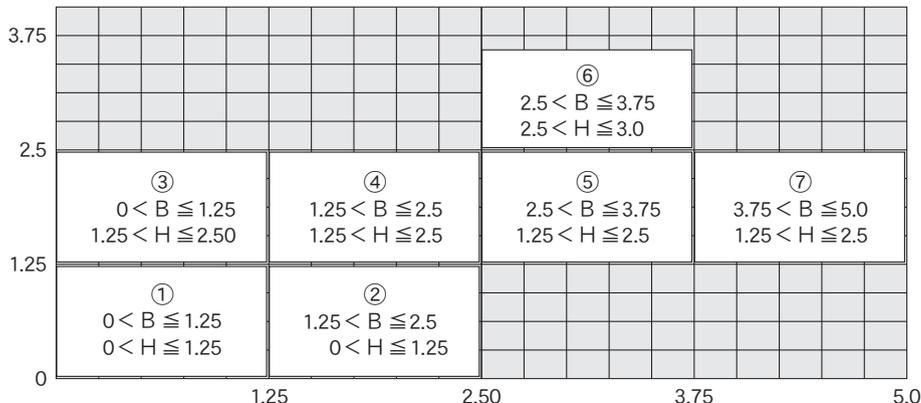
機種の設定

使用する機械の機種・規格は、次表を基準とします。

構造物名称	規格区分	機械名	規格
ボックスカルバート	内空高, 内空幅 2.5m以下とL=1.5mの⑤	ラフテレーンクレーン	油圧式 排出ガス対策型 25 t 吊
	上記以外の区分範囲	ラフテレーンクレーン	油圧式 排出ガス対策型 45 t 吊

ボックスカルバート据付歩掛は、次表の通りとします。

据付歩掛区分



据付歩掛（10m当り）

製品長	歩掛区分	世話役 (人)	特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	ラフテレーンクレーン 運転 (日)	雑工種率 (%)		諸雑費 (%)	
						基礎碎石	均しコンクリート		
2.0m/個	①	0.6(0.8)	0.4(0.5)	1.3(1.7)	0.3(0.3)	28(23)	53(43)	11(13)	
	②	0.9(1.3)	0.5(0.8)	1.8(2.8)	0.4(0.4)	37(27)	88(63)		
	③					27(19)	56(40)		
	④	1.1(1.9)	0.7(1.2)	2.4(3.9)	0.6(0.6)	29(19)	69(47)		7(6)
	⑤	1.3(2.5)	0.9(1.6)	3.0(5.1)	0.8(0.9)	32(21)	82(55)		
	⑥	1.5(3.1)	1.1(2.0)	3.6(6.2)	1.0(1.2)	27(17)	67(42)		
⑦	5.0(7.0)	3.1(4.3)	10.0(14.4)	1.7(1.8)	18(14)	28(22)			
1.5m/個	②	1.2(2.3)	0.8(1.4)	2.5(4.7)	0.5(0.5)	27(16)	64(38)	6(6)	
	④	1.6(2.7)	1.0(1.7)	3.3(5.7)	0.6(0.6)	22(14)	53(34)		
	⑤	2.5(3.9)	1.6(2.5)	5.2(8.1)	0.9(0.9)	23(16)	60(41)		
1.0m/個	⑥	3.7(5.4)	2.3(3.4)	7.7(11.2)	1.3(1.3)	14(11)	38(28)	6(6)	
	⑦	7.0(8.7)	4.1(5.4)	14.7(19.3)	3.0(3.5)	13(11)	20(18)		
	⑤	3.2(4.6)	2.0(3.0)	6.7(10.0)	1.5(1.7)	17(14)	44(34)		
	⑥	5.1(6.7)	3.0(4.2)	10.7(14.7)	2.2(2.5)	12(10)	28(24)		

(注) 1) PC鋼材を使用しない場合（ボックスカルバートの据付）の歩掛りです。

() 内はPC鋼材による縦連結の場合（ボックスカルバートの据付+PC鋼材による縦締め）です。

2) 本歩掛で対象としている製品は、1ブロックを1部材で構成するボックスカルバートです。

3) 歩掛は、運搬距離30m程度までの小運搬を含むものであり、床掘り、埋め戻し、残土処理は含みません。

4) インバート形状の場合、内空高は最大値とします。

5) ラフテレーンクレーンは賃料とし、標準的な規格は機種・規格表による。ただし、作業半径等現場条件と異なる場合は、別途検討して下さい。

6) PC鋼材、定着金具は別途必要量を計上して下さい。

PC鋼材を4本同時に緊張する場合は別途検討を要します。

7) 縦締め歩掛は、直線部にのみ適用します。

8) 雑工種、諸雑費は労務費とラフテレーンクレーン運転費の合計額に上表の率を乗じた金額を計上して下さい。

ただし、諸雑費として計上する金額は上限値とする。なお、雑工種及び諸雑費に含まれる内容は次のとおりです。

【雑工種（基礎碎石）】敷設・転圧労務、材料投入・締固め機械運転経費、碎石等材料費

【雑工種（均しコンクリート）】打設・養生・型枠製作・設置・撤去労務、電力に関する経費、シュート・ホップ・パイプレータ損料、コンクリート、養生材、均し型枠材料費

【諸経費】レバーブロック・油圧ジャッキ（ポンプを含む）・グラウトポンプ・ミキサの損料、敷モルタル・目地モルタル、グラウト材等の材料費

9) 基礎碎石の敷均し厚は、25cm以下を標準としており、これにより難しい場合は別途計上して下さい。

10) 雑工種における材料は、種別・規格に関わらず適用できます。

11) 本歩掛には、均しコンクリート型枠施工時の剥離材塗布及びクレーン作業を含みます。